

21

Japanese Academy of Social Design Studies for 21st Century

vol.3

21世紀社会デザイン研究学会ニュース

21世紀社会デザイン研究学会ニュース第3号
2007年10月25日発行
■発行人 北山晴一 ■編集人 笠原清志
■発行所 21世紀社会デザイン研究学会

■連絡先 〒171-8501東京都豊島区西池袋3-34-1
立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科委員長室 気付 21世紀社会デザイン研究学会事務局
E-mail: info@socialdesign-academy.org URL: http://www.socialdesign-academy.org/
■デザイン 増田幸右 ■印刷 株式会社



第2回年次大会開催迫る！ —今大会がめざすものと見どころ

21世紀社会デザイン研究学会
常任理事 中村 陽一
(大会実行委員)

第2回年次大会まで1か月余りとなりました。これからご紹介するように、今大会は、一つにはこの間の研究活動の焦点のひとつとなっているCSR(企業の社会的責任)をめぐるシンポジウム、もう一つには当学会設立趣旨でもある各研究分野における先行学会との研究ネットワーク形成の第一歩としてのジョイントセッションという二つの「目玉企画」を中心に、もちろん会員各位の研究報告とともに開催してまいります。準備を担当しました大会実行委員として、以下、企画主旨をご紹介します(大会プログラムの詳細につきましては、2ページ以降をご覧ください)。

まず初日のシンポジウム「CSRと社会デザイン」は、大会開催校である立教大学(大学院21世紀社会デザイン研究科)で進められている「CSRインターンシップ・プログラム」と連動して行われている、NPO/NGOや企業と連携したCSRの実践的研究成果も活用しつつ、それだけにとどまらず、さらに当学会の問題意識である「社会デザイン」研究の広がりの中でCSR(活動)の現代的意義と今後へ向けての課題や可能性を展望しようとするものです。

日本電気(株)で長年CSR活動実践の最前線において活躍されてきた鈴木均氏、日産自動車の社会貢献活動を担ったのち現在は日本女子大学事務局長として大学人の立場からこのテーマにアプローチしようとしている島田京子氏、アムネスティ・インターナショナル日本事務局長として「CSRと人権」というテーマに国際NGOの戦略から切り込んでおられる寺中誠氏という得がたいパネリスト陣を迎え、CSRのエキスパートであるスコット・デイヴィス常任理事がコーディネーターを務めます。

2日目午前中の会員研究報告の後、午後からは2つの先輩学会とそれぞれジョイントセッションを行います。

一つは日本ボランティア学会とのセッション「共生の社会デザイン」です。この間、一貫して社会的排除を乗り越える共生の視点からボランティア(活動)を追究し続けてきた、当学会顧問でもある栗原彬・日本ボランティア学会代表を基調講演者にお迎えし、楠原彰・日本ボランティア学会運営委員と北山晴一・当学会会長にコメンテーターを務めていただきます。

もう一つは日本NPO学会とのセッション「社会デザインのなかでのNPO—この10年をふまえて」です。来春第10回大会開催を控える日本NPO学会・山内直人会長の基調講演、日本NPO学会からお一人と当学会・石川治江副会長によるコメント等により、NPOと社会デザインとの架橋をはかります。

なお、2つのジョイントセッションのモデレーターは、当学会から中村および理事1名が担当する予定です。

学会設立理念の具体化へ向けて歩みだす第2回年次大会に、会員はじめ数多くの皆様のご参加をお待ちしております。

(講師・パネリストの急な事情により、変更が生じる場合もあります。その際は何卒ご容赦ください)

第2回年次大会開催のお知らせ

統一テーマ：「CSRと社会デザイン」

※大会プログラムの詳細は、後日別途ご案内いたします。

開催日：2007年12月1日(土) 12:30～、12月2日(日) 9:30～

会場：立教大学池袋キャンパス7号館（東京都豊島区西池袋3-34-1）

*懇親会の会場のみ「セントポールズ会館」

大会参加費：一般会員2000円、院生・学生会員2000円、会員外4000円

懇親会費：3000円（懇親会は12月1日に開催）

お申込み先：第2回年次大会実行委員会

FAX：03-3985-2181 E-mail：info@socialdesign-academy.org

なお、事務局スタッフは非常勤のため、ご連絡などはFAXかE-mailでお願い致します。

パネルディスカッション

日時：2007年12月1日(土) 13:45～17:00

テーマ：「CSRと社会デザイン」

パネリスト：

寺中 誠（アムネスティ・インターナショナル日本事務局長）

鈴木 均（日本電気(株)CSR推進本部 CSR推進企画室長兼社会貢献室長）

島田京子（日本女子大学事務局長 元・日産自動車社会文化室長）

司会：

スコット・デイヴィス（立教大学教授）

ジョイントセッション

日時：12月2日(日) 13:30～15:00（下記①、②同時開催）

①日本ボランティア学会とのジョイント

テーマ：「共生の社会デザイン」

基調講演：

「社会的排除の視点から見つめ直す共生原理と社会デザイン」

栗原 彬（日本ボランティア学会代表、21世紀社会デザイン研究学会顧問、立命館大学教授）

コメンテーター：

楠原 彰（日本ボランティア学会運営委員 国学院大学教授）

北山晴一（21世紀社会デザイン研究学会会長）

司会：

交渉中

②日本NPO学会とのジョイント

テーマ：「(仮題) 社会デザインの中でのNPO」

基調講演：

山内直人（日本NPO学会会長 大阪大学教授）

コメンテーター：

交渉中

司会：

中村陽一（立教大学教授）

自由論題発表

日時：12月2日(日) 10:00～12:30

発表分野：

CSR、コミュニティデザイン、NPO・NGO/文化・芸術、平和構築

発表者：

上記の分野より15名が発表予定。

(発表者、パネリスト等の急な事情により、変更が生じる場合もありますので、予めご了承ください。)

学会員の活動紹介



▲質問を受ける上園氏（左から2人目）

北京五輪セミナー参加報告

21世紀社会デザイン研究学会
常任理事 上園 俊樹
(社)埼玉県警備業協会副会長

本年8月6日より5日間にわたり中国北京の清華大学都市計画設計研究院の招請を受け「北京五輪セミナー」にて講演を行なった。又、北京五輪会場のこけら落としとして実施された国際ホッケー大会の警備、防災面のリスク評価を実施、その結果を「報告書」として、主催者側に提出した。

そもそも、21世紀社会デザイン研究学会宛に同研究院よりの招請があった経緯は3年前にさかのぼる。2004年10月、立教大学21世紀社会デザイン研究科主催の公開国際シンポジウム「日中大都市における防災と危機管理」に中国側コメンテーターとして出席した清華大学公共管理学院顧林生所長が今回のセミナーの主催者の1人である。同シンポジウムには、(社)埼玉県警備業協会樋口会長他警備関係者が多数出席、活発な意見交換が行なわれ、それ以来日中の危機管理学等を議題として両者の交流が続いている。

現在中国では2300社の民間警備会社が存在し、警備員は230万人余りを擁している。問題点として公安部と建設部の規定間の矛盾・高いリスクに伴う人材難・教育の未整備等が表面化している。従って2008年北京五輪、2010年上海万博を迎えるにあたり国際イベントにおける危機管理のあり方について早急に整備を要する状況にある。それだけに長野五輪、日韓ワールドカップ大会等実績のある日本の警備業の知識が必要とされている。

セミナーの基調テーマは「大型国際イベントの危機管理」、内容は2点に絞られた。1点は国際イベントの警備体制、災害等の緊急時体制における危機管理計画、2点目は北京五輪の安全な開催に向けて日中両国の民間及び政府間の協力のあり方について模索するという内容である。私の講演は、「日本における危機管理の変遷と現状」をテーマとし、明石花火大会事故、オウムサリン事件における警備及び救急医療体制の問題点、又中越沖地震における柏崎刈羽原発の被害とその経済的損失について発表した。その他日本の国際イベントの危機管理計画と現状対策について長野五輪、日韓ワールドカップの警備計画を作成、実施した(株)SPDセキュリティA菅野取締役が発表を行なった。

このセミナーには主催者として北京市首都安全研究センター中国五輪安全保安業務調整委員会、中国保安協会、出席者として中国人民公安大学郭太生教授、中国上海万博協会ルーウェイ部長はじめ多くの危機管理に関わる専門家、担当者が参加、全体討議では、空港保安のあり方、イベント警備におけるテロ対策等、より実践的な質問が多く、北京五輪にかかる中国側関係者の強い意気込みが感じられた。又翌日には五輪ホッケー会場にて実施された4ヶ国国際大会の警備、救護体制のリスク評価を実施したが、地下鉄、バス等の輸送手段、警備体制等に今だ未整備な部分が多く、特に1年後の開会式には世界各国7万人の観衆がメインスタジアム「鳥の巣」に集うわけであり、警備計画については更に検討が必要である。

尚、最終日には北京日本大使館を本セミナー主催者と共に訪問、横井一等書記官、木村二等書記官と面談、セミナーの報告を行なった。席上10月に訪中する超党派の議員連盟「北京五輪を支援する議員の会」に日本側の民間警備会社の派遣の必要性について上申する旨の話をいただいた。

ところで私達は訪中前の情報では宿舎は清華大学の寮と聞いていたのだがこれが広大な明時代の庭園（清華園）に建つ豪華な迎賓館。日中は摂氏40度近い真夏の近代都市、夕方は涼しく、柳と蓮の花に囲まれた古きいにしえの町。中国の歴史の奥深さと発展への意欲とバイタリティーを垣間見た5日間のセミナーであった。

理事会報告

2007年度第2回常任理事・理事会

日時：2007年7月20日(金) 18:30~20:10

場所：立教大学池袋キャンパス11号館1階A101教室

出席：

【常任理事】北山晴一、笠原清志、加藤薫、後藤和子、スコット・デイヴィス、中村陽一

【理事】伊藤道雄、小野豊和、菊野一雄、小林規男、佐取朗、澤野次郎、吉村英子

【監事】伊藤勝教、田川義博 【幹事長】比留間和憲 【事務局】中村圭美

【審議事項】

1. 第2回年次大会プログラムの検討
2. 新規入会申込者の入会審査
3. 研究部会設立の検討

【報告事項】

1. 会員入会状況の報告
2. 収支報告

2007年度第3回常任理事・理事会

日時：2007年9月19日(水) 18:30~20:00

場所：立教大学池袋キャンパス11号館4階会議室

出席：

【常任理事】北山晴一、笠原清志、上園俊樹、加藤薫、川村仁弘、スコット・デイヴィス、中村陽一、萩原なつ子

【理事】伊藤道雄、小野豊和、菊野一雄、齋藤哲男、澤野次郎、福田秀人

【監事】伊藤勝教、田川義博 【幹事長】比留間和憲 【事務局】中村圭美

【審議事項】

1. 第2回年次大会プログラムの検討
2. 新規入会申込者の入会審査
3. 研究部会設立の検討

【報告事項】

1. 北山会長の記事が日本経済新聞夕刊（2007年8月11日付）に掲載。
2. 第2回年次大会実行委員会報告
3. 収支報告

年会費未納の方へのお願い

新しく会員になられた方、もしくは会員2年目の方で、年会費が未払いになっている方は、同封の振込用紙にてお振込みください。なお、大学生・大学院生会員の方は学生証のコピーをFAXまたは郵送にて事務局宛にお送りください。

〈年会費〉

法人会員 1口20,000円 (2口以上)

個人会員 8,000円

大学院生会員 4,000円

学部生会員 3,000円

〈お振込み先 (郵便振替)〉

郵便振替口座番号：00190-5-352518

加入者名：21世紀社会デザイン研究学会

第2回年次大会のボランティアスタッフ募集

大会実行委員会では、12月1日(土)、2日(日)の両日に行われます年次大会のボランティアスタッフを募集します。ボランティアの内容は下記の通りです。

大会スタッフ

- ・備品係、誘導板作成係、資料作成係、看板・誘導板設置係、誘導係、受付係、会計係、会場係等。
- ・弁当支給

なお、大会当日はローテーションを組んでスタッフも大会を聴講できるように配慮いたします。

〈お申込み先〉

第2回年次大会実行委員会

FAX：03-3985-2181 E-mail：info@socialdesign-academy.org

・事務局スタッフは非常勤のため、ご連絡等はFAXかE-mailでお願い致します。